

(様式3)

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

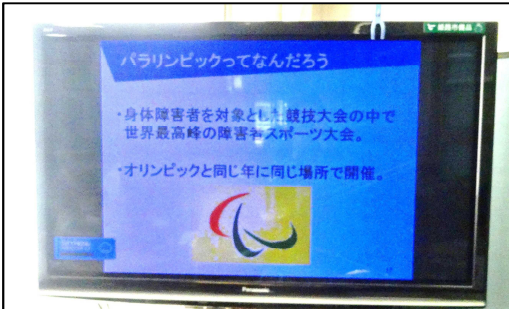
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

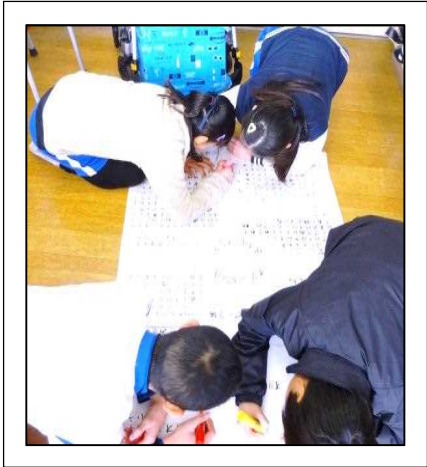
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 姫路市立広畑第二小学校 】

1 実践テーマ	【 I・II・III・IV・V 】
2 実施対象者	第5学年・4クラス・161名 地域のスポーツ団体
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 (オリ・パラ教育講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピックで関わりの深い世界の国について調べたことをプレゼンテーションにまとめ発表することで理解を深める。 (総合的な学習の時間) ・パラリンピック選手の経験を聞いたり、車椅子バスケットを体験したりすることを通して、障がい者スポーツへの関心を高める。 (オリ・パラ教育講演会)
5 取組内容	・「オリンピック・パラリンピックについて知ろう」 (総合的な学習の時間) オリンピックやパラリンピックについて知る。  ○体験しよう ・パラリンピック種目の車いすバスケット、シットینگバレー等の体験をする。

	○調べよう ・自分が興味をもったことについて調べる。 本やインターネットを使って調べる。 ○まとめよう ・調べたことを班で模造紙にまとめる。  ○伝えよう ・まとめたことを伝える。 
6 主な成果	・オリンピック・パラリンピックに興味をもつ児童やその保護者が増えた。 ・パラリンピックに出場した選手との交流により、自らの目標を持って、その実現に向けて意欲を高めた児童が増えた。 ・選手だけでなく、大会に関係する多くの人々の存在に気付き、「する・みる・支える・知る」等のスポーツとの多様な関わり方について考えることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・児童の体験活動を取り入れた学習に取り組んだ。

8主な課題等	・オリパラ教育を行うにあたり、教員によって教育内容の理解が異なり、方向性が見えにくい。 ・ゲストティーチャー等の人材の確保が難しい。 ・系統立てた指導や継続的に取り組むための手立てが必要である。 ・保護者や地域との連携も必要である。
9来年度以降の実施予定	・今回の課題解決を図り、以前から実施している4年生での活動を中心に本校のオリパラ教育のさらなる充実を図る。